

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター 松元

【計画】

作成担当者： 長友 智奈美

開催日時	令和01年07月11日 10:30 ~ 11:52	開催場所	松元支所特別会議室、ボランティアルーム
参加者	松元地区民生委員・主任児童委員：31人、健康づくり推進員、よかよか元気クラブ：13人、居宅介護支援事業所：3人、保健福祉課：4人、地域包括支援センター職員：5人		
	総数	56人	
内容	テーマ	第1回 松元圏域地域ケア会議 地域課題について	
	目的	地域包括支援ネットワークの構築、地域づくり・社会資源開発	
	概要	①松元4校区ごとの困りごとの抽出（グループワーク） ②情報の共有（マップに落とし込む作業） ③地域の健康づくりや生活についての意見交換 ④各グループ発表	

【結果】

開催日時	令和01年07月11日 10:30 ~ 11:52	開催場所	松元支所特別会議室、ボランティアルーム
参加者	松元地区民生委員・主任児童委員：31人、健康づくり推進員、よかよか元気クラブ：13人、居宅介護支援事業所：3人、保健福祉課：4人、地域包括支援センター松元：5人、地域包括支援センター職員		
	総数	56人	
内容	<p>1. 松元4校区ごとに困りごとの抽出（グループワーク）</p> <p>2. 困りごとを項目ごとに色分けしマップに落とし込む （黄：家事支援、青：外出支援、緑：地域交流、桃：健康、赤：防災防犯、白：その他）</p> <p>3. 地図をみての意見交換</p> <p>4. 各校区ごとグループ発表</p> <p>●松元地区・・・防災避難指示がでてでも避難しない、非難できない。防災無線が可動しているか声かけが必要。ゴミ収集場所が遠い、時間が早い。地域食堂が折尾地区でスタート。免許返納したら外出ができない。 ●春山地区・・・買物や病院への便が悪い、不便。若い人は暮らしやすいが年を取ると暮らしにくい。 上伊集院駅前学生保護者送迎で大混雑。7～80代車に乗れないと不便。松元の人には行政に頼りすぎている、誰かがしてくれると思っている、だから避難もしない。 ●石谷地区・・・防災が一番意見多い。地域ごとに防災教育があったらいいのではないか。避難所問題。日頃のつながりが大事であることが再確認。ゴミだし（地域外ゴミ、町内会未加入者問題）高齢者の猫餌付けで野良猫多い。 ●東昌地区・・・災害時の通行止めなど情報はどこに聞けばわかるのか。情報を行政がまとめてくれたらいい。しかしその情報を伝えるの地域住民。サロンに行きたいけど、「あの人がいるからいきたくない」等の人間関係。健康についての勉強よりも作品作りのサポートをしてほしい。移動販売が来てくれる。</p> <p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨災害直後ということもあり、防災の意見が非常に多くあがり、地域住民の現状や防災に対する意識を地域住民が確認できる機会となった。 ・困りごとだけではなく、新しく地域で始まった活動等についても参加者からの報告あり、情報共有の場ともなった。 ・今回は松元保健福祉課の「健康づくりを語る会」と合同で行ったことより、さらに多くの地域住民の参加となり、各地域ごとで活発な意見交換ができていた。 ・松元地区全体で「災害防犯」「ゴミだし、買物」「外出支援、交流」は共通した課題抽出の結果とることをマップを通して再認識できた。 		
	今後の課題など	各地域ごとに抽出した課題を、地域ケア推進会議や松元に関わりのある事業所とのネットワーク構築型会議につなげていく。	